

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設整備経費			担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者			
事業開始年度	昭和21年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部 会計課		橋本 昌浩			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等						
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	昭和63年の開議決定に基づき、世田谷区上用賀から川崎市へ移転するため、具体的な研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成26年度より新庁舎建設工事に着手しており、平成29年3月竣工を予定している。平成27年度においては躯体工事を実施している。									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	1	9	741	2,075	-			
		翌年度へ繰越し	▲9	▲741	▲2,075	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	14	222	950	4,364	1			
		執行額	12	219	949	-	-			
	執行率(%)	86%	99%	100%	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度		
	平成28年度においては、平成26年度に国庫債務負担行為契約に基づき締結した工事6件について引き続き実施するものを含む。	成果実績	件	2	6	6	-	-		
		目標値	件	1	6	6	-	6		
		達成度	%	200	100	100	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	契約工事件数	活動実績	件	2	6	6	-			
		当初見込み	件	1	6	6	6			
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	執行額(百万円)÷実施工事件数	単位当たりコスト	百万円	6	36.5	158.2	727.3			
		計算式	/	12/2	219/6	949.3/6	4,364/6			
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	施設施工旅費	0	0	新庁舎の建設工事が平成28年度までに完了することによる減。						
	施設施工庁費	13	1							
	施設整備費	2,276	0							
	計	2,289	1							
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	政策								
		施策								
	測定指標	定量的指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度		
		実績値	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
改革項目(第一階層)	分野	分野	-	-						
		KPI(第一階層)	単位	計画開始時 -年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
	成果実績	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国立医薬品食品衛生研究所は国民の健康と生活環境を維持・向上させること等を目的に研究等を行っており、当研究所の移転による一極集中は正は多極分散型国土の形成を促進するため、国民のニーズがある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の施設機関であるため、国が主体となって実施する必要がある。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	当研究所の移転による一極集中は正は多極分散型国土の形成を促進するため、優先度が高い。			
事業の効率的性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	随意契約の場合であっても複数社から見積を徴収し、最廉価額の者と契約を締結した。			
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	妥当なコストとなっている。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	真に必要な経費のみ支出している。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	目標に見合ったものとなっている。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業目的達成のために効率的な方法で実施しており、また毎年度成果も着実にあげていることから、他の手段と比較して、実効性は高いと考えられる。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	27年度の実施工事件数は6件であり、見込に見合ったものとなっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	本事業は、国立医薬品食品衛生研究所の環境整備、建物計画、工事費の概算等を決定し、必要となる工事等を行うことを目的としている。一方、国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費は、厚生労働行政に必要な行政研究・事業や厚生労働科学研究の遂行に資する化学系の最先端機器を、厚生労働省全体の共同利用型機器として整備することを目的としている。従って、内容及び経費執行に重複はない。			
	所管府省・部局名	事業番号		事業名		
	国立医薬品食品衛生研究所	835		国立医薬品食品衛生研究所共同利用型高額研究機器整備費		
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 川崎市への移転を計画通りに進めるために必要な整備を行った。 経費の執行にあたっては、執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、適正な執行に努めている。 平成26年度に建設工事業者との契約を締結したところであり、平成29年3月竣工を目標に進捗している。 				
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、移転計画を進める。 引き続き、執行管理表により管理し、経費の適正な執行に努める。 平成26年度から建設工事を実施しており、平成27年度より躯体工事を実施している。 				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通	特定国有財産整備計画に基づく庁舎移転にかかる施設整備費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	577	平成23年度	526	平成24年度	466	
平成25年度	933	平成26年度	932	平成27年度	938	
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)	※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	 <pre> graph TD Root["国立医薬品食品衛生研究所 949.3百万円"] A["A.民間企業(4社) 947.6百万円 (国立医薬品食品衛生研究所の移転に伴う建築工事)"] B["B.民間企業(2社) 1.2百万円 (国立医薬品食品衛生研究所の移転に伴う経費)"] C["C.個人(17者) 0.1百万円 (旅費)"] D["D.事務費 0.4百万円 (移転に伴う消耗品購入費等)"] Root --> A Root --> B Root --> C Root --> D </pre>					

